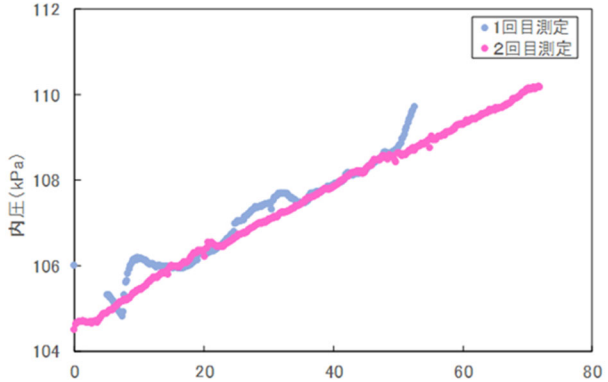
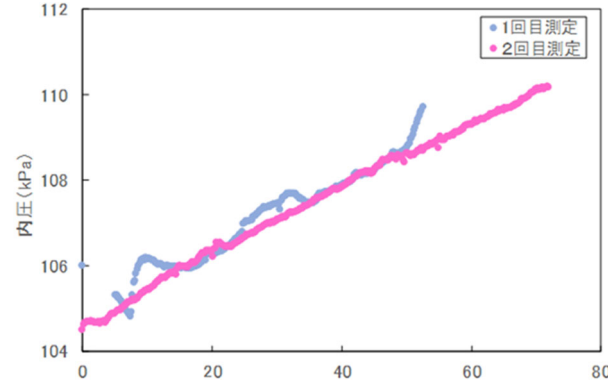


(正誤表)

平成 31 年度 高レベル放射性廃棄物等の地層処分にに関する技術開発事業 TRU廃棄物処理・処分にに関する技術開発 報告書 令和 2 年 3 月

ページ	場所	種類	誤	正
iv	33 行目 (図 2.1-66)	図目次	試料温度 22℃補正における <u>照射線量</u> に対する圧力変化	試料温度 22℃補正における <u>吸収線量</u> に対する圧力変化
2-55	17～18 行目 39～40 行目	本文 本文	さらに、水素ガス発生量を評価するために重要となる G 値について、 <u>照射線量当たり</u> のデータで整理したが、 試料 1g あたり、 <u>単位照射線量当たり</u> の水素ガス発生量と自由水量及び全水分量の関係を図 2.1-61 に示す。	さらに、水素ガス発生量を評価するために重要となる G 値について、 <u>吸収線量当たり</u> のデータで整理したが、 試料 1g あたり、 <u>単位吸収線量当たり</u> の水素ガス発生量と自由水量及び全水分量の関係を図 2.1-61 に示す。
2-58	18 行目 26 行目 29 行目	本文 本文 本文	試料温度を 22℃補正した場合の <u>照射線量</u> に対する圧力変化を図 2.1-66 に示す。 今回実施した試験では、 <u>照射線量が弱く</u> 、 <u>照射線量を高くし</u> 、圧力が高い領域における試験を行うための検討を行っていく必要がある。	試料温度を 22℃補正した場合の <u>吸収線量</u> に対する圧力変化を図 2.1-66 に示す。 今回実施した試験では、 <u>線源の線量が弱く</u> 、 <u>高線量条件下で</u> 、圧力が高い領域における試験を行うための検討を行っていく必要がある。
2-59	図 2.1-66	図	 <p>図 2.1-66 試料温度 22℃補正における<u>照射線量</u>に対する圧力変化</p>	 <p>図 2.1-66 試料温度 22℃補正における<u>吸収線量</u>に対する圧力変化</p>